

## 佐呂間ダイアリー

- ◆ 1月
  - 8日 佐呂間町 成人式 (出席者40名)



- ◆ 2月
  - 10日 富丘 今部ハルヨさん百寿祝贈呈
  - 12日 第18回かまくら雪まつり サイエンスキャラバン
  - 23日 寿大学第3回学園祭

- ◆ 3月
  - 1日 北海道佐呂間高校第52回卒業証書授与式 (卒業生34名)
  - 15日 佐呂間中学校卒業式 (52名)
  - 17日 佐呂間小学校 卒業式 (33名)
  - 24日 若佐小学校 卒業式 (3名)
  - 浜佐呂間小学校 卒業式 (3名)



佐呂間町の世帯数と人口 (平成29年3月31日)  
 世帯数 2,443世帯 人口 5,270人  
**佐呂間町サポーターズ倶楽部** 人口 1,591人  
 合計 6,861人  
 [前号人口比較 44人増加]

町民の出生届と死亡届 **さろサポ新規登録届**

28.12月	出生4人	死亡11人	59人
1月	出生4人	死亡9人	23人
2月	出生2人	死亡3人	34人
3月	出生2人	死亡8人	18人

**住所変更**などサポーターズ倶楽部登録情報に変更が生じた場合は「サポーターズ倶楽部HP」下段にある「変更届」様式によりご連絡ください。

## 発見 サロマの魅力!

「カネテツ谷川水産オホーツク サロマ湖海苔」  
 ホタテ、カキの養殖が有名なサロマ湖ですが、海苔の養殖も行われていることをご存知でしょうか。佐呂間町の家産養殖家は谷川水産一軒のみ。

サロマ湖海苔のこだわりは、酸処理を行わないところにあります。

一般的な海苔養殖は、生育を妨げる珪藻や病気を防ぐため、海苔網を酸に浸す酸処理というのを行います。

しかし、酸処理によって海苔本来の風味や香りを損なってしまうので、谷川水産ではあえて酸処理をせず、汚れをブラシを使って手作業で落としています。

この手間暇がサロマ湖海苔を風味豊かでおいしく仕上げています。

期間を通して酸処理を行わないのは全国でも谷川水産だけだと言われており大変珍しい手法で作られています。

谷川水産サロマ湖海苔は特産品カタログに載っていますので、是非ご賞味ください。

※谷川水産さんのHPからも購入できます。

URL: [www.saromakonori.com](http://www.saromakonori.com)



(味噌汁に素干しのり!! お勧めですよ)



佐呂間町役場企画財政課

〒093-0592

北海道常呂郡佐呂間町永代町3番地1

Tel 01587-2-1214 Fax 01587-2-3368

佐呂間町サポーターズ倶楽部ネットワーク

2017年  
4月

## サロマの風



今年は3月に入っても気温が低く海明けも例年より半月程遅くなりそうです。

冬期間、積雪や湖の凍結により一面真っ白な佐呂間町では、日ごとに融雪や解氷が進み春の訪れを感じさせてくれます。春は、冬の寒さと長い夜から開放され、生物の活動が活発になります。人間も例外ではないのでしょうか。

冬も見所が多い佐呂間町ですが、雪が溶けると、まだ寒さが残る中、車やバイク、サイクリングなどを楽しむ方が訪れ始め、春の風を感じながらのサロマ湖沿いのドライブは大変気持ち良く、国道238号線にある道の駅「サロマ湖」や北勝水産では、食事や休憩、お土産を買うことも出来、のんびりとドライブを楽しむことができます。

北海道ではこれからお花見の季節になります。

佐呂間ではゴールデンウィーク過ぎにお花見の時期を迎えますが、お花見といえば桜。佐呂間町には、公園の山一面に芝桜を植えている場所があります。一面が紫色の芝桜に染まり、白い芝桜で「さろま」の文字が形づくられた山は大変迫力があります。

毎年5月初旬に色付き始めますので一度見に行きたいはかがでしょうか。

We ♥ Saroma



## サロマ湖 100km ウルトラマラソン

32 回目を迎えるサロマ湖 100km ウルトラマラソン。このマラソンは湧別町・佐呂間町・北見市常呂町にまたがるサロマ湖をほぼ一周するコースです。

インターネットで行われるエントリーは、受付開始から約 20 分で定員となり、エントリーが出来ないこともある大人気の大会です。

100 キロの部は、湧別町を午前 5 : 00 にスタートし、午後 6 : 00 までの 13 時間で北見市常呂町のゴールを目指します。また 50 キロの部は本町を午前 10 : 00 にスタートし、100 キロと同じ午後 6 : 00 までの 8 時間でゴールを目指します。

毎年 100 キロの部は約 3,500 名、50 キロの部は約 600 名のランナーが過酷なレースに挑戦します。



(50 キロのスタート：佐呂間町 100 年広場)

ランナーの中には、サポーターズ倶楽部の会員も多くいらっしゃいます。

倶楽部の申し込みでは、「毎年 100 キロに参加しています」「100 キロでサロマを知りました」「今年も走ります」などのメッセージも添えられています。

大会まで残り 3 ヶ月を切りました。今回の「サロマの風」では、サロマ湖をほぼ一周するコースと大会の様子についてお知らせいたします。

午前 5 : 00 湧別町をスタートし湧別市街を通り、サロマ湖の第一湖口を目指して朝日を浴びながら走ります。太鼓の音が聞こえてきたら折り返しまであと僅か、先に折り返してきた仲間と長いレースへの健闘を誓ってハイタッチで走り抜けます。

折り返しのあとは、牧草ロールや牛舎が点在する酪農地帯の国道 238 号線を通り佐呂間町に向けて走ります。途中、湧別町月見が浜にある 42.195 キロのモニュメントを通過したら、いよいよウルトラマラソンの開始です。

レース中盤の急な登り坂を越えるといよいよ佐呂間町に入ります。地元のボランティア、中・高校生、役場職員によるエイドステーションがあり、地元の方々の笑顔に勇気付けられます。

54 キロ地点のグランティアサロマ湖では、気持ちをリフレッシュさせる為の着替えと後半に向けてのエネルギー補給を行います。ホタテご飯のおにぎりはお勧めです。

さて、後半の残り 45 キロ、サロマの名所の一つキムアネップ岬へ、約 65 キロ地点手前にあり、サロマ湖からの風を受けながら、サロマ湖の大きさを感じる余裕もなく走り抜けます。

65 キロ地点を抜けると、「魔女の森」と呼ばれる木々に覆われたコースを走ります。天気の良い日には、強い日差しから守ってくれるオアシスとなります。



(ボランティアスタッフ：60 キロ関門)

レースの終盤では、佐呂間をスタートした 50 キロの部のランナーと合流しゴールを目指します。

70 キロ手前には佐呂間町最後のエイドステーションもありますが、私設エイドステーションの「斉藤商店」があります。本町の浜佐呂間で鮮魚販売している商店ですが、店主のお母さんのご好意により開設されており、「ゴールで待ってるよ!!」と渡される、冷たいオシボリが疲れた体と心を癒してくれます。

このマラソンコース上には、サロマ湖を一望できる幌岩山展望台入口、道の駅「サロマ湖」、ホタテバナーが人気の北勝水産、夕日を見るならキムアネップ岬とランナーのみならず、応援で訪れる方々やレースが終わった後のランナーも楽しんでいただけるスポットが数多くあります。

さて、75 キロ地点では北見市常呂町となりますが、鶴雅リゾートさんの「お汁粉」!! 疲労困憊の体に染み渡り、これを楽しみにしているランナーも多く人気のエイドステーションです。

レースの残り 20 キロは、竜宮街道(ワッカ)と呼ばれる竜の背中を走っているようなアップダウンを繰り返した道を走ります。疲れた足には非常に厳しく、ゴールへの試練となる道です。

最後の折り返し手前では、オホーツク海とサロマ湖の水が入り混じる第二湖口に架かる橋を渡り、折り返しを過ぎれば、約 11 キロを最後の気力を振り絞りゴールへ向きます。

残り約 3 キロで長かった竜宮街道(ワッカ)を抜け、「ナイスラン!!」と沿道からの声援を受けてゴールへ、いよいよ残り 1 キロでは、先にゴールをしたランナー達も応援に駆けつけてくれます。

ゴールでは家族や仲間と一緒にゴールする方も多く、長い長いレースが終わります。

今年も多くのランナーが完走を目指して佐呂間へお越しいただくことでしょう。

ランナーは勿論のこと、応援で来られる方々もお気を付けていらしてください。

サロマで皆様にお会いできることを楽しみにしております。

### 【東京サロマ会】

首都圏に住む佐呂間町出身者等で組織して 26 年を迎えます。江東区民まつりでのサロマ物産展開催のほか、オホーツク・サロマの旬の毛ガニやホタテを食べる集い、ふるさと旅行などを開催しています。

会費等不要、佐呂間町出身者以外の方も入会できます。

◆連絡・問い合わせ先：西沢孝洋(たかひろ)さん  
電話 047-449-2107 メール：tm24-sawa@nifty.com